

すべての京大生諸君、全人民の正義の怒りを体現する革命軍から、偉大な軍報が発せられた。

アーヴィング・リードは、正義のゲリラ戦だ。五・二三反核五。

三・一三ゲリラ戦は三里原軍事空港へのジェット燃料貨車輸送路を攻撃し、反帝武装闘争の全面的發展をさし

擊し二十四時間これをぶつとめる』にひらく巨頭である。

アーヴィング・リードは、万人挙起を根柢から牽引する戦闘である。

アーヴィング・リードは、正義のゲリラ戦だ。五・二三反核五。

侵略と差別——虐殺の元凶

皇居に火炎車突入!

朝鮮アジア人民の沖縄県民と全人民の怒りの先頭で炸裂した百万人挙起を根柢から牽引する戦闘である。

人民の不眞誠天の敵は虐殺者に口ひり

に怒りの銃撃が下された。

五月七日未明、八五一五体制物

警戒線はスクスクとなり

碑・沖縄高還くと大書きされた中核旗

防衛の到着まで

を繰り返し火炎車が皇居正門に突入した。

オロヨロ回り、皇族ともほ

己が罪の

怒りの炎は、早既の空に数メートル

深さと人民の怒りを改めて思い知り

噴き上げ、二〇分間にわたって燃え続

恐怖にうちふるえていたのである。

日本に火炎攻撃の報は夕刊各紙

曰帝國權力と天皇ヒヒトは、自

らが全民の怒りと憎悪の内である二

ヶ時。

革命的武装闘争貫徹!

火炎攻撃

5・15沖縄式典開催! 復帰十周年

皇室御行

自衛隊施設3方所を同時火炎攻撃

侵略と沿岸警備の帝国主義軍隊

自衛隊施設3方所を同時火炎攻撃

侵略と沿岸警備の帝国主義軍隊

自衛隊施設3方所を同時火炎攻撃

侵略と沿岸警備の帝国主義軍隊

自衛隊施設3方所を同時火炎攻撃

侵略と沿岸警備の帝国主義軍隊

反革命カラマルを撲滅せよ

ゲリラ

謀略

論

白色テロ策

反革命カラマルを撲滅せよ

ゲリラ

謀略

論

十四年五月の強行をもって「基準の憲法」の「五・一五再燃「復帰」」

敵底的に沖縄県民に押しつけ認めてせしもつての爲めに、

敵底的に沖縄県民に押しつけ認めてせしもつての爲めに、

（軍事監督）永久核爆風化用兵、五・一五体制崩壊

沖縄奪還（海保船群一日京打倒）をたたかう沖縄県民

に断罪連帶した本軍における武装決起としてかんじら

れたのである。

沖縄問題の實質主義的改善のための要請（元典などは、人民の終りの火で焼き落とすのみである。

同時に五・七戰斗は、五年の那賀那嘉連合入射暴走

引きつけた、侵略と差別、虐殺の元凶（天皇に対する怒りの鼓動である。

数千万アーチャー人命を虐殺し、自らの滅命のためにに

広島・長崎への原爆投下、沖縄戦（国民の皆が殺された）部東小学校に対する、出動運動一部著しく運動史上空前

敗戦の沖縄壳り渡して、差別化された今世紀最大の虐殺

者（ヒロシマ、生核な方々、あまつさえ、本五・一）

五訪弾まで過激してはたなど絶対に許してはならぬ！

反帝武装斗争の發展で、食の本業を切り開け！

（オーバー）五・七戰斗は、能登草共同の革命的武装

武装斗争、総的開始した。この年の地平の死守・発

れた盤旋戦（トコトコ）完結し、反帝武装斗争、本格的

立ち入り行くものである。

わざ沖縄は、その五年保・沖縄攻撃において、反帝

武装斗争、総的開始した。この年の地平の死守・発

れた盤旋戦（トコトコ）完結し、反帝武装斗争、本格的

起に勝利する覚悟を以て作りだし、先制的攻撃戦略

（全面展開）高力段階化を主客にあたって準備した。

（オーバー）ナサニエルの裏力軍としての本質、全人民の

武装的終決起という構造は、われわれ自身の断罪たる能

突出をもって存続されなくてはいけない。

ハ二年三重城一期戦は、三重城斗争十五年史をもそ

の勝利の序曲として、ようやく始まる反帝武装斗争としてたたか

われる。核兵器と帝国主義そのものの廃絶、空想的打

をもれ、五の方の食ふる帝斗争に決起しよりとして

「核兵器開拓、反帝斗争正義の武器」を運びて開拓

「破壊兵器庄断罪し、一重の内戦をトコトコ徹せよ」

（オーバー）五・七戰斗は、田代國家暴力の対戦共闘破

破壊去は、ただ更なる（破壊活動）によるものであつて、

所が全面連合立憲の眞面目中で勝ちとられた。

（オーバー）一・一三講座（セイジンミツ・イチヨウホウジン）

度にわたる破壊を攻撃不、階級斗争の内訌的内戦的裏表

黒川赤色テロルに対する人質攻撃には我々の赤色テロル

（オーバー）リラ戦争を阻止しただつた。七年（明治）の二

十・三の戦斗に対する、デッヂアゲ殺人罪・指名手配攻

度にわたる破壊を攻撃不、階級斗争の内訌的内戦的裏表

（オーバー）の発展を阻止しておこう。

（オーバー）防衛改憲の全面化、勤労半葉、解雇禁令支部・東岐

クタルとの二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）この二二二（五・七）戦斗は示したのだ。

（オーバー）をういうものとして反革命力グラムに対しても大打撃

を免えたのである。

（オーバー）防衛改憲をうち抜き、日帝日露戦争・現代のテロス

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）すべての学友諸君、革命軍のナリラ戦争にたゞ支那也

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階

級戦の勝利者としておどり出なくてはいけない。

（オーバー）（テロス）の二重の内戦をトコトコ通じ、八〇年代階